

親木のアカマツの下で、苗木の植え方の説明



児童名が入った木札と植え付けの様子



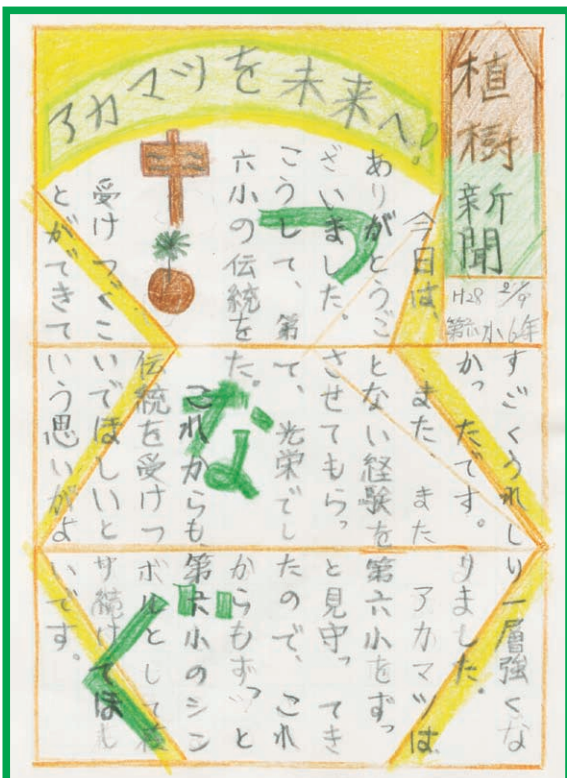
カマツの穂木を児童が採取し、関西育種場で接ぎ木による増殖が行われました。(詳細は、二〇一五年二月号No. 一一三九号参照)。

当日は、親木のアカマツの下で、関西育種場から苗木の贈呈が行われ、技術普及課は、苗木の植え方の指導を行いました。植付けを実施する児童は、昨年、アカマツの穂木を採取した児童が一三班に分かれて記念植樹を行いました。

植樹後は、児童名が入った木札も標示しました。児童たちは、自分たちが採取した苗木を、百年を超えて学校を見守っている親木の周囲へ植える機会に恵まれた。また、この取組は、地元テレビ局等の取材を受け

その日の夕方に放映され広く県民に伝えられました。

なお、後日、植樹した児童からアカマツを思う感想文が寄せられましたので掲載します。



各地のたより



森林整備事業発注担当者の安全指導会

格・教育等について講義を行いました。

向け、各市町等の森林整備

なかでも、昨年

事業発注担当者を対象に、

から労働安全衛生

「森林整備事業発注担当者の安全指導会」開催
市町・県職員に向けて
〈香川森林管理事務所〉

これまで国有林で培ってき

規則や林業・木材

た災害防止対策等を説明

製造業労働災害防

し、支援する目的で開催い

止規程が改正され

たしました。

たことにより、伐

一月二日、高松市のルポール讃岐において、「森林整備事業発注担当者の安全指導会」を開催しました。

当日は七市町の担当者八

倒時の立入禁止区

名と県の担当者五名の参

加を得て、林業・木材製造

域の拡大や木材伐

出機械等が新たに

業労働安全防止協会香川支

規制の対象になったことな

これは、林業の成長産業

部の陶山安全技能師範と当

ど、これまでと大きく変更

化やそれを通じた地方創生

所の森林技術指導官によ

されたことを中心に説明し

を実現していくため、適切

り、森林整備を実施するに

であり、技術力と安全性を

な森林整備を推進する必要

当たって、チェーンソーや

高めるとともに、生産性も

があるものの、林業におけ

刈払機を取扱う際の注意す

上げる努力をすること、

る労働災害の発生は他産業

べきことや高性能林業機械

お互いがE・O・Oの関係

に比べ依然高い傾向にある

を使用する場合に必要な資

と題し、田口森林整備部長

ことから、労働災害撲滅に

と題し、田口森林整備部長

説明に参加者も興味深く傾

聴していました。

参加者からは、「労働安



全だけでなく、林野行政の

現状等についても話を聞け

た。「最新の労働安全の動

向が勉強できて非常にため

になった。「適切な指導が

できるよう、発注者サイド

でも作業に対する知識をつ

ける必要があると感じた。」

等の意見が寄せられ、好評

のうちに閉会しました。

当所では、今後ともこう

した機会を多く企画して、

県や市町等との連携強化を

図るとともに、民国連携に

よる共同施策についても推

進していく考えです。

「リスクアセスメント勉強会」開催 〈香川森林管理事務所〉

一月十五日、香川森林管理事務所では安全管理担当者等会議に併せ、「リスクアセスメント勉強会」を開催しました。

本年度、四国局においては、全職員の日頃の取り組みにより公務災害は発生していないものの、請負事業等においては、一二月末現在二一件の労働災害が発生（当所管内においても一件発生）するとともに、重大災害に準ずる災害も発生するなど、憂慮すべき事態

となっていること

勉強会の様子

とを踏まえ、当所の取り組みとして事業発注者（監督職員）としての安全知識

の向上を目的として開催したものです。

リスクアセスメントについては、平成二十七年



度請負事業者等労働災害防止対策においても推奨しているところですが、請負事業体においては必ずしも完全に定着しているとはいえないこと、また、監督職員等においてもリスクアセスメントの進め方等の知識に

乏しい職員もいることから、今回はリスクアセスメントに絞って、全職員を対象に実施しました。勉強会の講師には、林業の安全管理に知識が豊富であり、林業・木材製造業労働災害防止協会の講師も務

められている宮本光芳氏にお願いしました。勉強会の前半は講義を中心に行い、

後半は四班に分かれて、各班それぞれ事例を選択し、①危険因子の洗い出し、②

リスクの見積り、③リスクの評価、④リスク低減対策の検討、⑤内容の記録を行い、最後に各班の代表が結果を発表しました。なお、各ステップでは、各班とも

活発な意見を交わすなど終始真剣に取り組みました。林業現場を取り巻く環境は厳しい状況にあります。リスクを少しでも軽減するためには、リスクアセスメントの取り組みは非常に効果が大きいことを改め



平成27年度四国森林・林業研究発表会 発表課題及び審査結果

発表順	発表課題	発表者			審査結果
		所属	氏名		
1	傾斜付横断溝の現状と課題	四国森林管理局森林整備課 路網整備係 路網計画係	佐野 友紀 東別府省伍		日本森林技術協会理事賞
2	下刈省力化とニホンジカ害対策に向けた新たな試みについて～エリートツリーの植栽とニホンジカ食害防止クリップの導入～(経過報告)	高知中部森林管理署 別府森林事務所 森林官 四国森林理局 森林技術・支援センター所長	小松 大高 山崎 忠男		四国森林管理局長賞(優秀賞)
3	森林環境教育の実践手法	四万十川森林ふれあい推進センター 自然再生指導官 自然再生指導官	川村 春喜 曾我部 稔		
4	フォレスター活動の取組	香川森林管理事務所 森林技術指導官	鷹野 孝司		四国森林管理局長賞(優秀賞)
5	石鎚山系におけるグリーンサポート スタッフの軌跡	愛媛森林管理署西条・石鎚森林事務所 地域統括森林官 係員 森林保護員	森本 吉男 西川 大貴 別宮 隆英		日本森林林業振興会長賞
6	穴吹川地区大剣谷における森林表土利用工の施工事例	徳島森林管理署 治山技術官 穴吹川治山事業所 治山技術官 日本植生株式会社 技術1課 課長	森浦 由照 菊池 裕揮 中村 剛		
7	三次元リモートセンシングによる森林構造の把握	高知大学 准教授 高知工科大学 教授 日本森林林業振興会 高知支部長	松岡 真如 高木 方隆 川上 利次		
8	久万林業の新たな取組について～林業躍進プロジェクトの達成に向けて～	愛媛県中予地方局久万高原 森林林業課 主任	松本大樹郎		
9	素材生産における技術交流の促進～民国事業体が連携した技術研修会の実施～	四万十森林管理署 森林整備官 植村木材有限会社 事業部長	酒井 克馬 中平 博文		四国森林管理局長賞(優秀賞)
10	土佐市新居緑地公園 <small>あずまや</small> 四阿製作	高知県立高知工業高等学校 建築科3年生	稲本 誠也 川村 拓大 種田 透 近森 風威 寺尾颯一郎 中沢 尚哉	中山 雄貴 西田 快 松田 星華 山本 智也 和田 翔太	四国森林管理局長賞(奨励賞)
11	嶺北森林管理署管内におけるニホンジカ生息調査及び捕獲・駆除対策について	嶺北森林管理署 森林技術指導官	鶴内 和典		四国森林管理局長賞(最優秀賞)

発表順	発表課題	発表者			審査結果
		所属	氏名		
12	我が署におけるこれまでのニホンジカ対策の検証と今後の方向性について	四万十森林管理署 窪川・中津川森林事務所 係員	松林 玄悟		
13	ニホンジカの生息密度と明るいヒノキ人工林の下層植生との関係について	高知大学農学部 4回生	青木 遙		四国森林管理局 長賞（奨励賞）
14	三嶺山系におけるニホンジカ駆除の取組について	高知県鳥獣対策課チーフ (被害対策担当) 四国森林管理局 企画官	門脇 義一 藤丸 功		
15	管内におけるニホンジカ被害対策の取組について	高知中部森林管理署 森林技術指導官 主任森林整備官	石田 俊郎 豊永 憲文		
16	ヤナセスギ択伐施業モデル林の現況と今後の施業の取扱に関する考察	安芸森林管理署 大井森林事務所 森林官 魚梁瀬・西川事務所 係員	永石 達也 有働 貴史		
17	山に遊び 山に学ぶ	高知県立四万十高等学校 自然環境コース2年生 自然環境コース1年生	吾妻 勇哉 谷脇 春樹	宮脇恵美里	四国森林管理局 長賞（奨励賞）
18	四国地方におけるエリートツリーの開発と四国森林管理局との共同植栽試験について ※特別発表	森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場 育種課 育種技術係長 遺伝資源管理課 四国増殖 保存園管理係長 育種課長 育種課 育種研究室長 遺伝資源管理部分類同定 研究室長	篠崎 夕子 河合 貴之 久保田正裕 三浦 真弘 磯田 圭哉		
19	高知県に導入された外国製林業機械について ※特別発表	高知県立森林技術センター 森林経営課チーフ	山崎 敏彦		
20	スギ・ヒノキの天然更新の可能性を考える ※特別発表	森林総合研究所四国支所 産学官連携推進調整監	杉田 久志		